



鶴岡市議会・本会議で採択＝6月23日



鶴岡市議会は、 「インボイス制度実施延期を求める」 意見書を全会一致で採択

山形県鶴岡市

鶴岡市議会は6月23日、「消費税インボイス制度の実施延期を求める」意見書を全会一致で採択しました。

鶴岡市議会で消費税インボイス実施延期が全会一致で採択された勢いで参議院選挙ではインボイス中止1

00万人ボイスアクションのはがき行動に取り組み、政治対話の中心にすることができました。

本会議前の6月14日の総務常任委員会では「益税」の抑制に必要なとの反対意見が出ましたが、「コロナ禍で冷え切った経済に原材料の高騰が追い打ちをかけている今、事業者の重い足かせとなるインボイス制度は延期するべき」「コロナと物価高騰の影響で現場の実態は厳しい」との賛成意見に満場一致で採択となりました。

全会一致の採択は初めて

田川地区各界連が結成されてから35年の歴史の中で鶴岡市が合併する25年ほど前に一度請願が採択されたことはありましたが、全会一致は初めてのことです。

参院選の得票では消費税減税反対

の自公勢力よりも、消費税減税を公約に掲げた勢力が上回っているとの全商連の分析や、民商・全商連・各界連の運動の前進に確信をもって、インボイス制度も中止・延期を勝ち取るまで奮闘する決意です。

9月は庄内町議会へ請願

鶴岡民商の活動地域にある庄内町議会には「町議会選挙と重なり取り組みが難しい」との判断で請願を断念したことに對して、かつて「消費税増税反対」で紹介議員をお願いしたことのある保守系の議員からは「なぜしなかったのか。請願権は市民の権利なのでやるべきだったのでは」とのお叱りを受け、9月議会ですら「中止・延期を歴史的たたかいへの挑戦という取り組みにする必要があります」。

商店会や業種組合など

訪問対話

会員からは「インボイスが実施されれば、課税業者になるか、そうでなければ、元受けから消費税分の値

引きを迫られる。市議会の意見書採択は、インボイス中止に向けた一歩だ。消費税増税とインボイス実施に突き進む勢力を後退に追い込むため、頑張る」との声が出ています。これまで採択に向け、私たちは市内の商店街振興組合や、印刷協同組合、電位工事組合などを訪問してきました。

各会派の議員にも

粘り強く訴え

6月議会前には、各会派の議員に説明もしました。

菅原会長は「保守系議員から『延期なら賛同できる』と言われ、『中止』ではなく『延期』に修正した。いろんな業種がインボイス実施中止を求めたことで、無視できなかったのだろう」と述べ、「民商が担当するもう二つの自治体での9月議会での採択を目指す」と決意しています。

9月8日、「インボイス制度実施延期を求める」意見書が、三川町の9月議会で採択されました。

鶴岡民主商工会

事務局長 山田 美加さん